

大石 慎三郎教授略歴ならびに著作目録

略 歴

愛媛県生まれ。東京大学文学部国史学科卒業。昭和36年『享保改革の経済政策』により文学博士号を取得。

- | | |
|----------|------------------------------|
| 1949年4月 | 文部省史料館 |
| 1952年4月 | 市立高崎短期大学助教授 |
| 1960年4月 | 神奈川大学法経学部助教授 |
| 1963年4月 | 学習院大学政経学部教授 |
| 1964年4月 | 同政経学部分離により経済学部教授になる。 |
| 1975年4月 | 学習院大学史料館長（兼任） |
| 1977年2月 | 私立学校教職員共済組合運営審議委員（1981年2月まで） |
| 1978年4月 | 学習院大学経済学部経済学科主任（1980年3月まで） |
| 1981年4月 | 徳川林政史研究所長を兼ね今日に至る。 |
| 1983年4月 | 学習院大学経済学部長（1987年3月まで） |
| ” | 学習院大学経済学研究科委員会委員長（1987年3月まで） |
| ” | 学校法人学習院評議員 |
| 1987年4月 | 財団法人徳川黎明会参事，今日に至る。 |
| 1987年10月 | 国際日本文化研究センター運営協議員（1993年9月まで） |
| 1992年8月 | 教科用図書検定調査審議会臨時委員 |
| 1993年2月 | 信州農村開発史研究所理事 |
| 1993年6月 | 教科用図書検定調査審議会委員 |
| 1993年10月 | 国際日本文化センター評議員 |

[非常勤講師]

東京大学・一ツ橋大学・津田塾大学・御茶ノ水女子大学・北海道大学・中央大学・早稲田大学・法政大学・東洋大学・新潟大学・鹿児島大学・愛媛大学・筑波大学・東京女子大学 等

[学会及び社会における活動]

- ・史学会（委員・評議員），歴史学研究会（委員・編集長），社会経済史学会（評議員），地方史研究協議会（監事），日本歴史学会（評議員），土地制度史学会（委員）などを歴任。
- ・愛媛県史編纂総括監修者，諏訪市史編纂監修者，茅野市史編纂監修者，刈谷市史編纂監修者，軽井沢町誌監修顧問，名古屋市史編纂監修者及び市史編纂委員など，県郡市町村史編纂事業に従事。

[賞 罰]

- | | |
|----------|---|
| 1993年1月 | 財団法人東京海上各務記念財団より，
第13回優秀著作書賞受賞（岩波書店刊『田沼意次の時代』） |
| 1993年11月 | 愛媛県教育文化賞受賞 |

著書・論文

[著書]

- 1958年6月 「封建的土地所有の解体過程」 御茶の水書房
- 1961年4月 「享保改革の経済政策」 御茶の水書房
- 1967年4月 「日本経済史論」 共著 御茶の水書房
- 1968年8月 「享保改革の経済政策」(増補版) 御茶の水書房
- 1968年12月 「近世村落の構造と家制度」 御茶の水書房
- 1969年8月 「庶民の抬頭」(日本歴史全集12) 講談社
- 1970年6月 「元禄時代」(岩波新書755) 岩波書店
- 1974年4月 「大岡越前守忠相」(岩波新書891) 岩波書店
- 1975年6月 「庶民の抬頭」(日本の歴史文庫12) 講談社
- 1975年9月 「幕藩制の転換」(日本の歴史20) 小学館
- 1975年11月 「日本近世社会の市場構造」 岩波書店
- 1976年8月 「近世村落の構造と家制度」(増補版) 御茶の水書房
- 1977年8月 「江戸時代」(中公新書476) 中央公論社
- 1982年4月 「江戸転換期の群像」 東京新聞出版局
- 1983年7月 「虚言申すまじく侯—江戸中期の財政改革—」 筑摩書房
- 1986年11月 「天明三年浅間大噴火」 角川書店
- 1989年3月 「徳川吉宗とその時代—江戸転換期の群像—」(中公文庫) 中央公論社
- 1991年12月 「田沼意次の時代」 岩波書店
- 1992年3月 「大江戸史話(中公文庫)」 中央公論社
- 1993年7月 「特装版元禄時代」 岩波書店
- 1994年3月 予 「享保改革の流通政策」 吉川弘文館
- 1994年3月 予 「徳川吉宗と享保の改革」 日本経済新聞社

[論文]

- 1951年9月 町人請負新田の成立事情—神戸新田(大宝前新田)の場合— 「史学雑誌」60篇9号
- 1952年12月 新田開発における女性の創意についての伝説 「地方史研究」6号
- 1953年2月 戦国末期における地代形態及び都市の問題に関する一考察 「思想」344号

- 1953年 8月 土地所有と村落構造—遠州佐野郡桑地村の場合— 「社会経済史学」19巻1号
- 1953年12月 近世封建社会形成史に関する一考察 「高崎論叢」1巻1号
- 1954年 6月 漁村における封建制の展開 「歴史学研究」172号
- 1954年 6月 近世初頭における「土豪」開発新田について—信州佐久平四新田に例をとって— 「史学雑誌」63篇6号
- 1955年 3月 近世的村落共同体と家 「東洋文化」18・19合併号
- 1955年 8月 幕末期における寄生地主について—維新史研究のための一試論 「社会経済史学」21巻1号
- 1956年 4月 徴兵制と家 「歴史学研究」194号
- 1956年 7月 江戸時代における農民の家とその相続形態について 『家族制度の研究(上) 歴史』(有斐閣)
- 1956年12月 歴史学における理論と実証について—歴史における個別性と法則性について— 「理想」283号
- 1957年 3月 “ブルジョアの発展”論争における一問題点について—封建農民のいわゆる“自給経済”について— 「歴史学研究」205号
- 1957年10月 地主制形成期における農民的米穀市場について 「一橋論叢」38巻4号
- 1957年11月 封建的土地所有解体に関する研究ノート 「社会科学研究」9巻3号
- 1958年 3月 蚕種市場について 『養蚕業の発達と地主制』(御茶の水書房)
- 1958年 6月 寄生地主成立の起点 『日本地主制史研究』(岩波書店)
- 1958年 7月 寄生地主制の展開 『明治維新史研究講座Ⅰ』(平凡社)
- 1959年 6月 江戸時代における戸籍について—その成立と性格の検討— 『戸籍制度と「家」制度』(東京大学出版会)
- 1960年 4月 享保改革における年貢増徴策—享保改革における幕府徴租法の変質とその意義— 「土地制度史学」7号
- 1960年 5月 享保改革期における地方支配機構の整備と農民対策(一) 「歴史評論」117号
- 1960年 6月 幕藩体制社会の構造—封建小農存在形態から幕藩体制構造論への試論— 「歴史学研究」242号
- 1960年 7月 享保改革期における地方支配機構の整備と農民対策(二) 「歴史評論」119号
- 1960年11月 上田藩域経済の構造 『上田小県誌二巻 歴史篇下』(上田小県誌刊行会)
- 1960年11月 近世前期における農政について—「享保改革の土地政策」の前史としての— 「商経法論叢」(神奈川大学)11巻3号

- 1960年12月 享保4年11月のいわゆる“相对济し令”の評価について 「日本歴史」150号
- 1961年11月 藩域経済圏の構造—信州上田藩の場合— 「商経法論叢」(神奈川大学)12巻3号
- 1961年12月 農民闘争よりみた元禄・享保～明和期について 「歴史学研究」260号
- 1962年2月 享保19年の定免・破免率(三分一損毛の場合)決定事情について 「商経法論叢」(神奈川大学)12巻4号
- 1962年11月 土地問題より見た天保(改革)期について 「日本史の研究」39輯(山川出版社)
- 1963年2月 江戸時代物価史に関する若干の問題—付 信州上田藩における米穀・銭相場について— 「商経法論叢」(神奈川大学)13巻4号
- 1963年11月 享保改革 『岩波講座日本歴史11 近世三』(岩波書店)
- 1964年2月 享保9年の“物価引下げ令”と江戸町奉行の“物価引下げに関する意見”書をめぐる若干の問題—享保改革の物価政策(その一)— 「日本歴史」189号
- 1964年4月 享保改革期江戸経済に対する大坂の地位—享保改革期における市場構造について— 「日本歴史」191号
- 1965年4月 元禄・享保期の経済段階 『日本経済史大系四 近世下』(東京大学出版会)
- 1965年9月 享保改革の米価政策(その一) 「経済論集」(学習院大学)2巻1号
- 1966年3月 近世社会 『日本史入門』(有斐閣選書638)(有斐閣)
- 1966年7月 「正徳4年大阪移出入商品表」について 「経済論集」(学習院大学)3巻1号
- 1967年10月 近世初期信濃における農民家屋について 『日本社会経済史研究 近世編』(吉川弘文館)
- 1967年10月 「都鄙問答」の経済(商業)思想と経済政策の間 『前近代アジアの法と社会』(勤草書房)
- 1967年11月 享保改革について 「日本歴史」234号
- 1968年2月 田沼意次に関する従来の史料の信憑性について—田沼時代再検討のため— 「日本歴史」237号
- 1968年3月 入鹿池新田の成立 「研究紀要」(徳川林政史研究所)42年度
- 1968年6月 近世村落の構造 「経済論集」(学習院大学)5巻1号
- 1969年6月 戸隠山神領の構造と入会問題 「経済論集」(学習院大学)6巻1号
- 1971年3月 “相对济し令”の成立と展開その1 「経済論集」(学習院大学)7巻2号
- 1971年3月 歴史における政治の役割について—尾州宗春の評価をめぐって— 「研究紀要」(徳川林政史研究所)45年度
- 1971年7月 “相对济し令”の成立と展開その2 「経済論集」(学習院大学)8巻1号

- 1972年 6月 『大岡越前守忠相日記』とその史料価値についての若干の考察—吉宗政権の性格をめぐって— 「日本歴史」289号
- 1973年 3月 近世中期の土地政策について—質地取扱をめぐって— 「経済論集」(学習院大学) 9巻3号
- 1973年 7月 江戸幕府の行政機構 「経済論集」(学習院大学) 10巻1号
- 1973年11月 近代以前の家族 近世 『家族の歴史』(講座家族一)(弘文堂)
- 1973年12月 近世中期の新田政策 「経済論集」(学習院大学) 10巻3号
- 1974年 9月 寄生地主制形成期における農民闘争 『農民闘争史 下』(歴史科学大系23)(校倉書房)
- 1974年10月 水戸藩天保の検地とその意義 「経済論集」(学習院大学) 11巻2号
- 1976年 5月 宝暦・天明期の幕政 『岩波講座日本歴史11 近世三』(岩波書店)
- 1979年 7月 勘者の時代—元禄・享保期の時代背景について— 「伊予史談」234号
- 1981年 5月 徳川將軍家の相続制度 その一 「家族史研究」第3集(大月書店)
- 1982年12月 近世家族について 「家族史研究」第5集(大月書店)
- 1986年 3月 蝦夷地林業の創始者飛騨屋久兵衛(一) 徳川林政史昭和60年度『紀要』
- 1987年 7月 蜀山人の時代 岩波『文学』55号
- 1987年 8月 秀忠と家光の東照宮造営 NHK『国宝への旅』
- 1988年 3月 蝦夷地林業の創始者飛騨屋久兵衛(二) 徳川林政史昭和62年度『紀要』
- 1988年 6月 江戸時代の噴火災害 東大出版『UP』
- 1989年 1月 日本における領土観の成立 『地盤』28号
- 1990年 3月 飛騨屋久兵衛倍行の林業経営 徳川林政史『研究紀要』24号
- 1991年 1月 近世城下町の研究 其一 学習院大学経済経営研究所『年報』第四
- 1991年 3月 「諏訪大明神画詞」・「季朝実録」に現われたアイヌ 学習院大学東洋文化研究所『研究報告』23号
- 1991年10月 日本の遷都の系譜 学習院大学『経済論集』
- 1992年 3月 幕藩体制に見る地方分権 自治大学『自治』390号
- 1992年10月 「まいない鳥」「まいないつぶれ考」 講談社『本』10月号
- 1992年12月 幕藩体制の確立と柳生一族 『プレジデント』12月号
- 1993年 1月 参勤交代の実際をさぐる(上) 『歴史街道』
- 1993年 2月 参勤交代の実際をさぐる(中) 『歴史街道』
- 1993年 3月 参勤交代の実際をさぐる(下) 『歴史街道』